

●自己評価						●関係者評価	
令和5年度 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 自己評価表(調理師科・パティシエ科)							
	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	課題	今後の改善方策	特記事項	関係者評価 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	関係者評価 特記事項
教育 目標 理念	①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3	①④学校の理念・目的・育成人材像は定められているものの、時代の変化に対応できていない。	①学校の理念・目的・育成人材像は学生便覧等に記載されているものの最初のオリエンテーションのみならず機会を持って指導していく。		3	・身に付けた技術は将来役に立つ。 ・自分たちの技術で人に喜んでもらえることを教える。
	②社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	3	②校内に組織部、沿革、五つの心、などの掲示はあるものの、学校の将来構想を職員一人一人がしっかり持っているか疑問が残る。	①④職員会議等で重点教育目標などを提案し合い、決定事項等については校内に掲示するなど共通理解を深める。			
	③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3	③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されていない。	③年に一度でもいいので参観日を行い、子供の様子や学校の事を知っていただく機会を設ける。			
	④各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3					
学校 運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	①コロナ禍で日常生活が激変した4年間があり物価も高騰し、生徒数も減少し今までの運営では限界が見えている。	①個人別に頑張っても空回りだけなのでもっと意見、アイデアが言える職場に改善する必要がある。		3	
	②事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3	①生徒数が激減している中で別途に収入を増やす為の手段の検討が必要である。	③社会の変化にともない柔軟な発想のもと意思決定が行われるよう、学園本部との情報・意識の共有を行い、仕事の質・量の見直しが必要。			
	③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	②運営方針については状況に応じた見直しが必要と思われる。				
	④人事、給与に関する制度は整備されているか	3	校則については昨年指摘した部分から変更されていない。				
	⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	⑦教育活動における情報公開は適切に行われているものの、要求される仕事の質・量は、増えており、個別に対応しなければならぬ生徒が増え職員の負担が増加している。				
	⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	⑧システムの効率化については法人への提案は行っているものの改善されていない。				
	⑦教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4					
	⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3					
教育 活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	⑥生徒による授業評価は実施し、その結果を教職員で共有しているものの、授業改善に結び付いていない。	⑤生徒のインターンシップを単位として認め、全員実施できるカリキュラムを検討する。		4	・生徒の自己評価を見ると半数以上の生徒が学校生活が楽しかったと回答している。そこが一番大切である。 ・教育では不易のところもあるが多様な生徒が在籍しているため、生徒の変化に対応して教育していくことも大切である。
	②目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として各学科の教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	⑫教員の指導力育成など資質向上の為、外部講師の授業を受けたいが雑務が多い為、受講できていない。	⑤校外授業(カフェアート実習・研修旅行)を出来るだけ増やしたい。			
	③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4		⑥生徒の授業評価を踏まえた上で講師の授業のやり方をもう一度見直す。			
	④関連分野の企業・関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの教育方法の工夫・見直し等が行われているか	3		⑩教職員が率先垂範して挨拶や清掃などを行い、風通しの良い職場環境を整える。			
	⑤関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3		⑫教員の研修はある程度強制する必要がある。			
	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか	4		⑫国家資格取得にふさわしい授業を実施するため、お互いに授業を参観するなど授業改善に取り組む。			
	⑦職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3		⑫講師陣が高齢化し魅力ある授業ができていないため、講師陣の若返りを進める。			
	⑧成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	4		⑫いろいろな特性を持った生徒が在籍しているため、定期試験の成績だけではなく、レポートや課題の提出など多様な評価基準により成績を評価する。			
	⑨資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4					
	⑩人事育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できるか	3					
	⑪関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3					
	⑫関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2					
	⑬職員の能力開発のための研修等が行われているか	3					
学 成 果	①就職率の向上が図られているか	4	①今年度の委託訓練生の就職決定率がよくない。	①就職に関しては入学した時から早めに関心するように、常に声掛けをする。卒業生の就職先の話などの情報をまじえて意識を高める。		3	・地産地消をアピールするなど各種機関とのタイアップを図る。
	②資格(免許)取得率の向上が図られているか	3	③高校にもあまり通学できていない生徒が休学している。そういう生徒がこれからも増える可能性が高いため、しっかり対策をとらなければいけない。	①1年過程である為、夏休休暇前には就職活動を行うよう進路指導を強化する。			
	③退学率の低減が図られているか	3	④同窓会の運営・活動が出来ていない為、卒業生の活躍を教職員も知らないし、学生に周知できていない。	①早めの進路決定を促し、夏休みの段階から就職を見据えた、インターンシップ先の選定などを行う。			
	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	⑤専門科目はもちろんのこと、専門以外の科目でも将来に役立つ知識・技能が身に付くような魅力的な授業となっていない。	③スクールカウンセラーを活用などの心のケアを重点的に行い、過ごしやすい環境を整える。今年度のようにカウンセリングが必要な生徒は日程を決めて今後もカウンセラーに繋いでいく。また、なぜ自分がかねかわればいけないのか分かっていない生徒がいる為、どのように促せばいいのか職員の研修も実施していく。			
	⑤卒業時に学校に対する満足度調査を行い、その結果を次年度の教育活動に活かしているか	4	⑤生徒に満足してもらったハード面でのサポートが予算削減の為、実施できない。	④インスタで卒業生の活躍を紹介する。			
学 生 支 援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	②心の支援で、スクールカウンセラーの設置・相談を行っているが、早期解決に繋がっていない。	⑧同窓会の組織運営の検討		3	各種イベントに同窓生を呼び込み、連携を深めていってはどうか。
	②生徒相談に関する体制は整備されているか	4		⑧全職員での卒業生への就職斡旋			
	③生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3		①教職員間での情報を共有するため、ギリギリでの単位不足の報告ではなく、3回欠席した時点で朝礼等で報告するようにする。また、教科担当者は3回欠席があった時点で担任に報告する様心がける。			
	④生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3	②一部の保護者には連携できているが、全体的には情報等周知できていない。	⑥職員会議で発言の場があるため、寝ている生徒、遅刻が多い生徒の職員間の情報共有を徹底し、早めに対策を打てるようにする。			
	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	3					
	⑥生徒の生活環境への支援は行われているか	3					
	⑦保護者と適切に連携しているか	3					
	⑧卒業生への支援体制はあるか	3					
	⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3					
	⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3					
教 育 環 境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	①最低ラインでの設備。生徒のニーズに答えるだけの予算が不足している。	①施設、設備は古いが過去を知る手段でもあるので大切にしてほしい。古いものの良さ、また社会に出たら超最先端の店、古い習わしのある店など多様な職場もあるので、古い・新しいのメリット・デメリット等の話をするなど教育活動に活かしていく。技術面は勿論の事ですが衛生面、安全面、生活面の指導、先生を敬う気持ち等、育成できる指導をしていく。		3	・施設への料理慰問などを教育課程に位置付けて、特色ある教育を行う。 ・本校主催の公開料理イベント(肉フェスのようなもの)などを実施し、独立した同窓生を巻き込んでもいいのではないかと。
	②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	①施設の老朽化は否めないが、現状での対応は難しい	②インターンシップを全生徒強制にする方が良いのではないかとと思うが、現状の業務内容でも手がいっぱいのため、強制にしたときの職員負担の増加は厳しいのではないかと。			
	③防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3	②インターンシップに行く生徒が少ない。企業の方たちは一度職場の状態を見ておいてほしいという意見がある。また、海外研修を楽しみに入学してきた生徒がいるがコロナ禍の為、できていない。				
学 生 募 集	①学生募集活動は、適正に行われているか	3	①オープンキャンパスの参加人数が少ない。	①SNSでは学校の授業を紹介するばかりで、うまく利用できていない。SNSを最大限利用して学生を呼び込みをしていく。		3	・留学生の募集については県との協働を考えるべき ・県西部の生徒の受け皿となるようにすべき ・施設慰問を行い、マスコミに取り上げてもらうことで知名度を上げる
	②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	④学納金について材料費等が値上がりしているので検討が必要。	①学生目線のインスタでの投稿。 ①留学生受け入れ			
	③入学選考は、適正に行われているか	3	④夜間部の廃止に伴う学納金の見直しは必須(特に調理実習費)だが今のところ「価格で勝負している側面を考えると当面は小幅な修正となるのではないかと。	④学納金値上げ(ラーメン1杯500円の時代の数字をどこまで守るか) ④原材料価格や物流費の高騰にともない実習費を上げる。			
	④学納金は妥当なものとなっているか	3					

令和5年度 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 自己評価表(調理師科・パティシエ科)

関係者評価

	評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題	今後の改善方策	特記事項	関係者評価	
						適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	関係者評価 特記事項
財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	①③監査、情報公開は適正と思うが何をどうやっても赤字である以上評価は難しい。 ①赤字を少しでも減らす	①生徒数の確保が最優先となる。 ①学生募集で入学定員の8割を確保 ①少子化に伴い生徒数も減少しているの で、収入を上げるには、学費をもう少し値上げする。		3	
	②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3					
	③財務について会計監査が適正に行われているか	4					
	④財務情報公開の体制整備はできているか	4					
法令等の遵守	①関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	②個人情報の保護に関して、ネットも含め悪意のある侵入者に対してどのように対応するか の共通認識が必要。	②研修を行い日々情報をアップデートしていく。 ③自己評価を公開し、全体で改善出来るところは改善し、個人的な事は本人に伝え改善する。		4	
	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4					
	③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3					
	④自己評価結果を公開しているか	4					
地域・社会・貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	③公開講座は再開しているが、参加数が確保できていない。	②生徒主体の社会・地域貢献計画的に実施する。 ③公開講座・菓子販実習を定期的実施する。 ③参加数の確保については、過去の受講者へのご案内の郵送やSNSへの掲載、ラ・サンテ249にチラシを置いてもらう。三光保育園・幼稚園の保護者への案内等、全教職員で考えていく。また、公開講座後にアンケートを実施し、講座内容や開催時期などをリサーチする。		3	・通信制高校などとの連携を図ってみたいかどうか。 ・いかに本校をPRしていけるかが大切。 各種イベントに参加する。 ・道の駅など地場施設と連携し、学校で作ったものを地域に認めてもらう活動を行う
	②生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	3					
	③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3					